

# 住宅用太陽光発電安心・安全設置のためのチェックシート

発行：平成27年3月 埼玉県ソーラー拡大協議会、埼玉県



## その1 ～設置検討編～

(1) 太陽光発電とは	チェック
① 発電システムの仕組みについて 太陽光発電システムがどのように発電し、その電気がどのように使われるのか。	
② モジュール(パネル)等の種類・特徴について 今回使用するモジュール(パネル)の種類とそのメリット、デメリットや、パワーコンディショナーの出力との関係は。	
③ 売電方法について 発電した電気の売電方法の種類と、今回の売電方法、売電価格、期間はどうなっているか。また、「売電により電気代が0円になる」や「自己負担なしで設置できる」などの断定的なセールストークはなかったか。	
④ 蓄電池等の併設について 蓄電池等の設置はした方がよいか、そのコストは。	
(2) 現地調査を踏まえた設置方法の提案	チェック
① 屋根形状・寸法、面積について 自宅の屋根の形状・寸法等から、屋根の構造等を考慮して、設置するモジュールの枚数、面積などをどう考えるか。	
② 建物の現状について 太陽光発電を設置する建物の現状や屋根の素材・構造、架台の設置方法、穴のあけ方などはどうするのか。	
③ 方位・角度について 太陽光発電の設置方位と傾斜角度による発電量への影響と、それに合わせてどのように設置するか。	
④ 機器の設置位置について モジュール以外のパワコン(自立運転用コンセント含む)、蓄電池(ある場合)などの設置場所はどこが適当と考えるか。	
⑤ 影の影響について 太陽光発電を設置した場合の、周辺の建物など、遮蔽物の有無と影による発電量への影響はどうか。	
⑥ 系統連系と電力抑制について 電力会社との電力需給契約や近隣の配電線、変圧器の状況など系統連系に支障はないか。また、系統の電圧状況により、太陽光パワコンによる電圧抑制が発生し、売電量が減る可能性とその際の対応(電力会社との協議)について、説明があったか。	

## その2 ～施工検討編～

(1) 建物への影響は	チェック
① 耐震について 建物の耐震性能に対して、設置するモジュール等の重量がどれぐらいか、また建物にかかる影響の可能性は。	
② 雨漏りの心配について 架台の設置にあたって、穴をあける箇所と、防水工事の実施方法、雨漏りの対策は。	
③ 「耐風」について 台風や竜巻等による強風に対する耐風機能や吹き上げの風による太陽光モジュールの脱落の可能性は。	
(2) 周囲への影響は	チェック
① 反射について 太陽光発電を設置することによって、周囲の住宅等への反射の方向性とその程度は。	
② 落雪の可能性について 太陽光発電設置後の雪止めの効果と、積雪量による落雪の影響範囲などは。	
(3) 施工の具体的内容は	チェック
① 施工方法について モジュールの固定方法なども含め、どのような工事を行うのか。	
② 設置スケジュールについて 資材の調達時期や工事実施にかかるスケジュールは。	
③ 施工ID、PV施工技術士資格の有無について 設置工事を行う事業者は販売者と同一か、また、施工IDやPV施工技術士の資格はあるか。	

その3 ～契約検討編～

(1) 契約書の内容		チェック
①金額と内容の内訳について	設置に係る金額の明細と値引きの内容などは、具体的にどうなっているか、また、購入・設置にあたってクレジットやローンを利用する場合は、その分割手数料や支払利息分の負担があることの説明はあったか。	
②契約の解除(クーリングオフ制度)について		
契約解除にかかる期間や方法はどうか。		
(2) 設置後の効果		チェック
①年間推定発電量について	太陽光の設置容量、日射量、周辺環境などを考慮し、予測される推定発電量はどの程度になるか。	
②電気料金の削減見込みについて		
発電が見込まれる電力と、現在の電力使用状況から、予測される電気料金の削減見込みはどうか。		
③投資回収見込みについて	電気料金の削減見込みと売電額見込みから、設置にかかった費用の投資回収期間の見込みはどの程度になるか。	
④CO2削減効果について		
太陽光発電を付けたことで、どれぐらいのCO2削減効果があって、地球環境に貢献するか。		
⑤見込みについて	上記①～④は見込みであり、予測どおりにはならない可能性があるなど、一定のリスクがあることについて説明を受けたか。	
⑥運転日報について		
設備の設置や年間の運転に要した費用の報告(設置費用年報、運転費用年報)を経済産業大臣あてに行うことが設置者に義務付けられていることの説明があったか。		

その4 ～維持管理編～

(1) 維持管理		チェック
①機器ごとの保証内容について	機器ごとに、保証の対象となる性能変化や災害・事故と、保証される期間や金額の範囲、誰が何をどこまで保証するかが明確になっているか。	
②定期点検について		
定期点検の有無と実施時期、実施内容と有償無償などについてはどうか。		
③機器の寿命、メンテナンス費用について	モジュールや周辺機器の寿命、更新時期、費用や、その他設置者が行うべきメンテナンスはどのようなものがあるか。	
④自然災害(落雷、火災、突風、水害、積雪、火山灰等)の補償について		
自然災害の補償はどこまで事業者が対応するのか、設置者が加入した方がよい損害保険などはあるか。		
(2) イザというときは		チェック
①パワーコンディショナーの自立運転機能について	災害時に太陽光発電から供給される電力を使用できるか、その使用できる電力量と使用方法は。	
②故障時の連絡先について		
モジュールや周辺機器に異常があった場合、その他、何かのトラブルがあった場合の連絡先はどこにすればいいか。		
③太陽光発電設置家屋の火災時の消火活動について	万が一、家屋が火災になったとき、消火活動に支障の少ない施工方法になっているか。	

太陽光発電設置にあたってのトラブルなどを未然に防止するため、必要な事柄について、以上の内容を説明しました。

〔販売者〕

所在地  
名称及び  
担当者氏名

印